

キャラクター名 リュカ・ダイヤモンド プレイヤー名  

<b>種族</b>	リルドラケン	<b>種族特徴</b>	鱗の皮膚、尻尾が武器、剣の加護/風の翼		
<b>生まれ</b>	戦士	<b>性別</b>	男	<b>年齢</b>	28
<b>冒険者Lv</b>	6	<b>経歴</b>	忘れられないほど美味しいものを知っている		
<b>経験点</b>	3740		冒険に出る理由：食べ物を作る人々を守るだけ強くなるため 近所では一番の物知りだった		

<b>技</b>	5	能力値	<b>A-F</b>	<b>成長</b>	<b>他修正</b>	能力値	ボーナス	<b>技能</b>	Lv.	<b>技能</b>	Lv.
		器用度	6	4		15	2				
<b>体</b>	14	敏捷度	11	2		18 + 1	3	プリースト/ダリオン	2		
		筋力	9	3		26 + 1	4	スカウト	6		
		生命力	17	2		33	5	エンハンサー	1		
<b>心</b>	6	知力	3			9	1				
		精神力	8	3		17	2				

戦闘特技		値	説明
トレジャーハント	2120p		p
全力攻撃	1-286p		p
武器習熟A/メイス	1-281p		p
防具習熟A/非金属鎧	1-282p		p
			p
			p
			p
			p
			p
			p
			p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドラゴン語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術		説明
キャッツアイ		

技能	基本レベル	基本命中力	基本回避力	基本ダメージ
ファイター	6	8	9	10
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ボーンベスト		16		6
盾	カイトシールド		13	1	1
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					1
回避技能	ファイター	合計値	10	8	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ロングソード	1H両	13		2d+ 8	10	10	13										
両手持ちロングソード	2H	13		2d+ 8	10	10	23										
シエルブレイカー	1H両	18	1	2d+ 9	12	11	28										
2Hシエルブレイカー	2H	18	1	2d+ 9	12	11	38										
尻尾	2H#	1	1	2d+ 1	12	0	11										
銀のナイフ+2	1H投	1	2	2d+ 10	10	12	1										
丸太	2H	24	2	2d+ 10	12	12	45										
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	19 m	57 m	2d+ 10	8	51

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 9	2d+ 11	2d+ 8	23

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	2	3			

装備品	説明
頭	
耳	通辞のピアス 汎用蛮族語、魔神語、ドレイク語、バジリスク語、妖魔語
顔	
首	
背中	ウェポンホルダー改 武器を2種収納できる
右手	剛力の指輪 筋力+1、壊すと+13
腰	
足	
その他	

装備品	説明
左手	俊足の指輪 器用度+1、壊すと+13

その他メモ	自動失敗チェック
冒険者になったはいいが、貧乏すぎて美味しいものに飢えている。口癖は「おいしいごはんがたべたい」。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤
マグノア草原国の近くにあるリルドラケンの集落で生まれ、恵まれた体格を活かして農業の手伝いをしていた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩
農場の点検を行っていたため、害獣などの足跡を見つけたり、農業に必要な道具の手入れをしていたことが(スカウト)技能の習得につながったとか。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳
作物の納品で交易商や料理店の店員たちと関わり、駄賃として食べ物をもらうことが多かった。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕
自分たちが作った作物がまだ見ぬ人々の糧になっていることや、おいしい料理に変わることが嬉しかった。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉑
自然と食事が好きになり、金額の多寡や店の大小にかかわらず、出された料理はすべて残さず食べた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉒
肉はもちろん好きだが、穀物や野菜、汁物も好きだ。そこには尊い食材があり、作物を作ることに動しんだ人がいる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉓

